

クロアチア情勢（2019 年 7 月）

在クロアチア日本国大使館

2019 年 9 月

1. クロノロジー

【内政】

4 日	野党がクシュチェビッチ行政相に対する不信任決議案を国会に提出。
5 日	ニュースポータル「Index」は、マリッチ国家資産相がフランシスコ教会寮の修繕を認める見返りとして、ザグレブ市内のアパートを安価で譲り受けたと報じた。
6 日	社会民主党（SDP）中央委員会は、大統領選挙の候補者として、ミラノビッチ元首相を正式に選出。
8 日	クシュチェビッチ行政相が、行政相及び与党クロアチア民主同盟（HDZ）政治局長の職を辞任。
11 日	政府は、新行政大臣としてマレニツァ・シベニク工科学学校校長を指名。
	オレピッチ議員（無所属、元「MOST」所属、前内相）が大統領選挙への出馬を表明。
	ミュンヘンでクロアチア移民を殺害した容疑で、独の裁判所により終身刑判決を受けたペルコビッチ元ユーゴ国家安全保障局員が、クロアチアの刑務所で服役するために移送された。
12 日	年金受給開始年齢の再引き下げを求める国民投票実施のために、5 月に労働組合が議会に提出した署名について、議会は、政府に対し、署名の有効性の確認を行うよう求めた。
	シェパロビッチ憲法裁判所長官は、憲法裁判所がブコバル市議会に対し、セルビア人議会議員が、口頭での請求によりキリル文字での文書送達を受けることが出来るよう、市議会規則を変更するよう勧告した旨記者会見で発表。
14 日	汚職・組織犯罪対策本部（USKOK）が、マリッチ国家資産相のザグレブ市内アパートの売買に関し捜査を開始。
15 日	マリッチ国家資産相が辞任。
17 日	プレンコビッチ首相は、外務・欧州問題相、農業相、行政相、地域開発・EU 基金相、人口・家族・青年・社会政策相、労働・年金システム相及び国家資産相の 7 名の閣僚の交代を含む内閣改造案を発表。
19 日	議会臨時会において、プレンコビッチ首相が提出した内閣改造案が信任された。
23 日	議会少数民族委員会は、与党クロアチア民主同盟議員が欠席する中、ブコバル市及び他の法律が求める自治体に所在する政府機関において二重言語表記を行うよう求めた。

24日	NATO軍に参加しているクロアチア人兵士1名が、アフガニスタンに於いて自爆テロ攻撃により死亡、同2名が重傷を負った。
25日	クロアチア北西部のチャコベツ市において特別閣議が開催され、メジウムリエ県を対象とした、30億クーナ相当の投資サイクルの開始を含む、種々のプロジェクトが採択された。

【外交】

1日	クロアチアのEU加盟6周年に当たり、プレンコビッチ首相は、クロアチアはEU加盟により多種多様の恩恵を受けた旨発言。外務・欧州問題省は、クロアチアは、欧州の価値を促進するメンバーであることを証明し、その評判を強化した旨の報道発表を发出。
2日	臨時欧州理事会において、EU次期首脳人事が決定。プレンコビッチ首相は、同人事に満足している旨発言。
4－5日	プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相は、EU・西バルカン首脳会合に参加するため、ポーランドを訪問。
8日	スレイマン＝ソイルン・トルコ内相がクロアチアを訪問し、プレンコビッチ首相と会談した他、両国内相は警察アカデミーの協力合意に署名。
8－9日	グラバル＝キタロビッチ大統領はスイスを訪問し、マウラー大統領と会談を行った。
9日	ペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相はスロバキアを訪問し、OSCE非公式閣僚級会合に出席。
11日	クルシュティチェビッチ国防相はポルトガルを訪問し、欧州海上保安機関（EMSA）を訪問。
	プレンコビッチ首相は、閣議の冒頭において、スレブレニツァ虐殺犠牲者に対する追悼の意を表明。
15日	ペイチノビッチ＝ブリッチ外務・欧州問題相が、ブラッセルで開催されたEU外相会合に出席、移民問題、湾岸・イラン情勢について議論を行った。
16日	クロアチア道路公社とボスニア・ヘルツェゴビナ通信・交通省及び企業コンソーシアムは、両国国境であるサバ川にかかる橋の建設に関する契約書に署名した。他方、ボスニア・ヘルツェゴビナ大統領評議会のコムシッチ及びジャファロビッチ両メンバーは、クロアチア南部のペリエシャツ橋の建設に反対する手続きを行うことを決定したと発言。
22日	シャロビッチ・ボスニア・ヘルツェゴビナ対外貿易・経済関係相は、同国の大統領評議会に対し、クロアチアが建設を進めるペリエシャツ橋、及び、クロアチア政府がボスニア国境近くに建設する予定と報じられている核廃棄物処理施設の問題を再検討するように求めた。
23日	ラデフ・ブルガリア大統領がクロアチアを訪問し、グラバル＝キタロビッチ大統領及びプレンコビッチ首相と会談。

24日	グルリッチ＝ラドマン新外務・欧州問題相が、外務・欧州問題省において外交団を招いた着任レセプションを開催。
	欧州議会において、クロアチア出身欧州議会議員のピツラ議員が、南東欧諸国に対する加盟前支援のための報告者に任命された。
25日	シーヤールトー・ハンガリー外相がクロアチアを訪問し、グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相と会談。
28日－ 31日	グラバル＝キタロビッチ大統領がイスラエルを訪問、リブリン大統領、ネタニヤフ首相、エデルシュタイン・イスラエル議会議長、カツツ外相とそれぞれ会談。クロアチアのリエカ港及びイスラエルのハイファ港の姉妹港都市合意署名式に臨席。
30日	フォン・デア・ライエン次期欧州委員会委員長がクロアチアを訪問。
	クロアチア退役軍人省、セルビア失踪者事務局、ボスニア・ヘルツェゴビナ失踪者機関が、1990年代の戦争における失踪者搜索のための協力合意覚書の履行に関する文書に署名。

【経済】

3日	クロアチア復興開発銀行は、2018年における起業家に対する融資が54億クーナ（約970億円、前年比13%増）に達し、2650事業を支援した旨公表。
4日	政府は、欧州為替相場メカニズム（ERM II）の参加に係る関心表明を発出することを決定。同日、クロアチア財務省は、ユーロ加盟各国及び関係機関に対し関心表明を発出。
5日	民間リサーチ会社Promocija Plus は新車販売台数を公表。今年上半期における新車販売台数は、38156台と前年同期比0.2%減。うち、23232台がガソリン車、13588台がディーゼル車、56台が電気自動車、357台がLPG車、923台がハイブリッド車。
10日	欧州委員会は、夏の経済見通しを公表。クロアチアの2019年の経済成長率は3.1%と5月時点の見通し（2.6%）から上方修正。2020年も2.7%（同2.5%）と上方修正。
12日	クロアチア雇用主協会（HUP）の医薬品卸売業部会は、国立病院に対する一部の医薬品及び医療機器の供給を一時的に停止することを発表。国立病院による未払いが26億クーナ（約470億円）に達したためと説明。
13日	スプリット空港新旅客ターミナルの落成式が行われ、運用を開始。
16日	フォルテノバ社（破たんしたアグロコル社の後継企業）は、117の非中核事業（小売や食品加工、農業生産等）における資産について売却を開始。

16日	クロアチア道路公社、ボスニア・ヘルツェゴビナ通信交通省及び企業コンソーシアムは、サバ川に架かる橋梁建設事業（オクチャニ～ボサンスカ・グラディシュカ間）の契約に署名。総事業費は2350万ユーロ。工期は30カ月。
18日	ボスニア・ヘルツェゴビナの天然ガス供給会社BHガスは、クロアチア・BH間に天然ガスパイプラインを敷設するプロジェクト（クロアチア南部ザグボズドとBH南部ポシュシェ及びモスタルを接続）について、EUの許可を取得したことを発表。2023年の運用を目指す。
26日	プレンコビッチ首相とマリッチ財務大臣は共同記者会見を開き、第4次税制改革の素案について言及。30歳以下の市民に対する所得税の引下げ、一般VATの引下げ、食品購入やホスピタリティ産業のサービスに対するVATの引下げ、法人税の優遇税率の適用対象の拡大等から成る。今秋に法律改正を進め、2020年1月に施行予定。
26日	クロアチア道路公社は、ペリエシャツ橋アクセス道路建設事業に係る入札結果を発表。シュトラバグ社（オーストリア）及びJ&P Avax社（ギリシャ）の2社を選定。